

## 社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）の事後評価報告書

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）	
①計画の名称	土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進（防災・安全）
②都道府県名	青森県
③計画期間	平成26年度（1年間）
④計画の目標	集中豪雨の多発に伴い、土石流・地すべり・がけ崩れ等の土砂災害に対し、土砂災害警戒区域等の指定にかかる2巡目の基礎調査を実施することにより、安全安心な県民生活の確保を図る。
2. 事後評価の内容	
①事後評価の時期	平成28年3月（平成26年度予算の精算見込み時期）
②事後評価の結果	指標①：【土砂災害警戒区域等の見直しを実施した個所数及びその比率】 評価方法：整備率＝ 土砂災害防止法に基づく2巡目の基礎調査実施個所数／土砂災害警戒区域等の総数 結果：計画当初値：1947箇所（48.3%）⇒ 目標値：2062箇所（51.2%）⇒ 実績値：2062箇所（51.2%） 土砂災害警戒区域等の指定にかかる基礎調査を115箇所実施した。
③結果の公表方法	青森県ホームページにて公表を行う
3. 今後の社会資本総合整備計画（事後評価を踏まえた今後の取り組み）	
①計画の名称	土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進（防災・安全）
②都道府県名	青森県
③計画期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）
④計画の目標	集中豪雨の多発に伴い、土石流・地すべり・がけ崩れ等の土砂災害に対し、土砂災害警戒区域等の指定にかかる2巡目及び3巡目の基礎調査を実施することにより、安全安心な県民生活の確保を図る。
⑤計画の成果目標	指標①：【2巡目の土砂災害警戒区域等の見直しを実施した個所数及びその比率（H23～H29年度）】 評価方法：整備率＝ 土砂災害防止法に基づく2巡目の基礎調査実施個所数／土砂災害警戒区域等の総数 目標値：当初値：51.2%（H27当初）⇒ 中間目標値：100.0%（H29末）  指標②：【3巡目の土砂災害警戒区域等の見直しを実施した個所数及びその比率（H30～H31年度）】 評価方法：整備率＝ 土砂災害防止法に基づく3巡目の基礎調査実施個所数／土砂災害警戒区域等の総数 目標値：中間目標値：0.0%（H29末）⇒ 最終目標値：24.4%（H31末）

# 土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進 (防災・安全)

事業主体 青森県  
計画期間 H26

## □ 社会資本整備総合計画の概要

### 計画の目標

集中豪雨の多発に伴い、土石流・地すべり・がけ崩れ等の土砂災害に対し、土砂災害警戒区域等の指定にかかる2巡目の基礎調査を実施することにより、安全安心な県民生活の確保を図る。

### 計画の成果目標(定量的指標)

①土砂災害警戒区域等の指定にかかる基礎調査を115箇所実施する。

【当初現況値】

1947箇所(整備率48.3%)

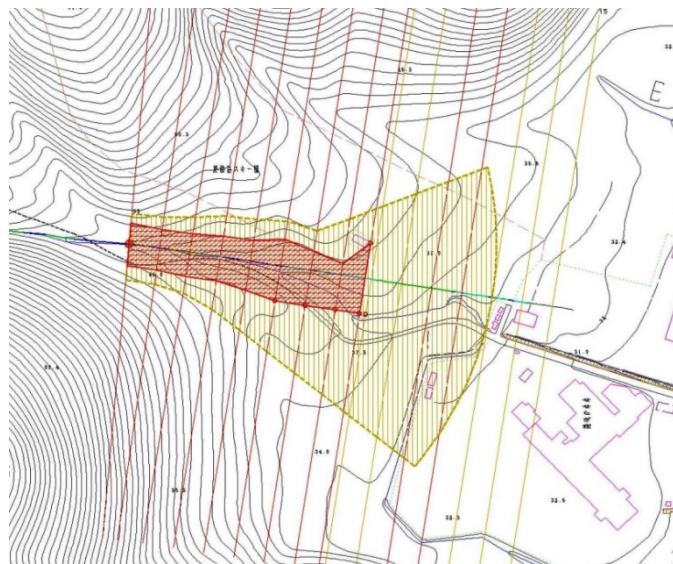


【最終目標値】

2062箇所(整備率51.2%)



1巡目基礎調査



## ■ 事後評価の結果

### 事業実績

当初設定した計画どおり、土砂災害警戒区域等の指定にかかる2巡目の基礎調査を115箇所完了させたことから、当計画の目標は達成したものとする。

### 【実績】

2062箇所(整備率51.2%)

**目標達成**  
(達成率100%)

2巡目基礎調査



1巡目調査以降に砂防堰堤が整備されたことにより、2巡目調査では土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)が解消されている。